

16

経済の成長と幕政の改革①

1 将軍のおひざもと、天下の台所

1 **新田開発と農業**▶幕府や藩は**年貢**の増収を図り、**新田開発**を進める。

備中ぐわや**千歯こき**、唐箕などの新しい農具が考案され、農法を紹介する書物も出版される。

干鰯や**油粕**を肥料として購入する。
干鰯は干したいわし、油粕は菜種をしぼったかす

2 **産業と流通の発達**▶**震災以降**、**木材パレット**が注目されている。

(1) **林業**▶**建築資材**や**暖房用の燃料**の需要が高まり、林業が盛んになる。

(2) **水産業**▶**漁網**が改良され、**漁獲量**が増える。**九十九里浜**のいわし漁

など。**塩田**による**塩**の生産も盛んになる。**土佐**や**紀伊**では**かつお**・**くじら**漁、**蝦夷地**では**鮭**・**にしん**漁

(3) **貨幣の発行**▶幕府は**鉱山**の開発を進め、**金貨**・**銀貨**・

銭貨（銅貨）を発行する。**五街道**→**地図**→

(4) **流通**▶**街道**が整備され、**東まわり航路**や**西まわり航路**が開かれる。**廻船**が**米**や**特産物**を運ぶ。

3 **にぎわう都市**▶**城下町**・**港町**・**宿場町**・**門前町**。

(1) **三都**▶**江戸**・**大阪**・**京都**のこと。

① **江戸**…「**将軍のおひざもと**」政治の中心。

② **大阪**…「**天下の台所**」商業の中心。各藩が**蔵屋敷**をおき、**年貢米**や**特産物**を運び込む。

③ **京都**…文化の中心。**西陣織**などの**手工業**が発達。

(2) **商人の成長**▶**問屋**や**仲買**などの商人が力を強め、**同業者**ごとに**株仲間**をつくり、幕府に**税**を納めるかわりに**営業**を独占。**両替商**が藩に**金**を貸し付ける。

■ **江戸時代の産業と交通**▶**塩**・**あい**・**ろう**・**鉄**・**紙**・**黒さとう**などの各地の特産物が、**陸海運**で運ばれる。

■ **歴史のなかの農作物**▶**食用**の**五穀**（**米**・**麦**・**粟**・**黍**または**稗**・**豆**）、**商品作物**の**四木三草**（**漆**・**桑**・**楮**・**茶**・**藍**・**麻**・**紅花**）を栽培。

■ **地域の街道や港を訪ねて**▶**東海道**には**箱根**の**関所**や**大井川**の**渡し**があり、幕府は「**入り鉄砲に出女**」を監視した。海上では**北前船**が盛んに行き来し、**蝦夷地**（**北海道**）の**産物**や**東北地方**の**米**を**大阪**へ運んだ。

2 花開く町人文化

1 **元禄文化**▶17世紀の末から18世紀初めにかけての**上方中心**の**町人文化**。

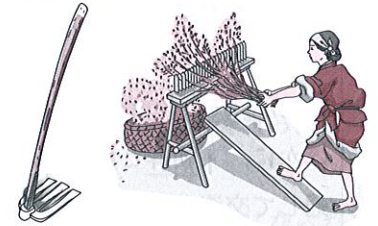
(1) **文学**▶**井原西鶴**が**浮世草子**を、**近松門左衛門**が**人形浄瑠璃**の**脚本**を書く。**松尾芭蕉**が**俳諧**（**俳句**）を芸術に高め「**奥の細道**」を書く。

(2) **演劇**▶**人形浄瑠璃**や**歌舞伎**が**人気**を集める。

(3) **美術**▶**俵屋宗達**や**尾形光琳**が**装飾画**を描く。**友禅染**の**小袖**が流行する。**菱川師宣**が**浮世絵**を描き、**木版画**となって売られる。

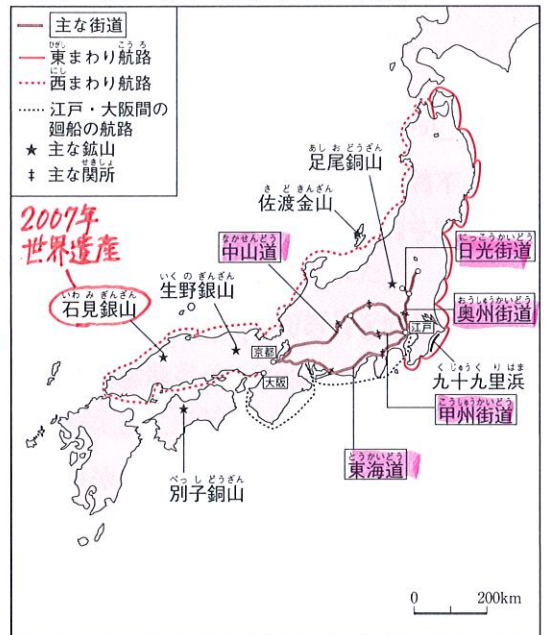
2 **民衆の暮らし**▶**木綿**の**衣服**が普及し、**1日3食**が定着する。**菜種油**を使う**行灯**が広まる。民衆は**年中行事**や**寺社まいり**を楽しむ。

▼備中ぐわと千歯こき



備中ぐわは深く耕すことができる。千歯こきは脱穀の効率を高める。

▼江戸時代の都市と交通、主な鉱山



▼菱川師宣「見返り美人図」



参勤交代で全国の代名詞、武士が来る江戸には家族用の屋敷が必要。

参勤交代のため、人は陸物は海

元気な町人上方文化、関西「松」は元禄、尾もつく。

京都大阪